

# 看護学教育における臨地実習に関する アンケート調査

日本看護系大学協議会

# 看護学教育における臨地実習に関するアンケート調査

実施者：日本看護系大学協議会(JANPU)

## I.調査方法

1.対象：2023年1月の時点での会員大学295課程

(内訳)国立・省庁大学校44課程、公立50課程、私立201課程

2. データ収集方法：サーベイモンキーを用いたWeb調査およびExcel調査

3. 設問：看護系大学生の卒業時到達度達成のための臨地参加型実習の必要性  
臨地参加型実習の実施状況、領域別臨地実習で経験している看護技術  
全国共通のCBT・OSCEの必要性および必要と思うもの

4. 調査期間：2023年1月26日～3月3日

## II. 結果

1. 回答数：214課程(国立・省庁大学校 n=32、公立 n=42、私立 n=140)/会員校 295校

回収率：72.5%(国立・省庁大学校 72.7%、公立 84.0%、私立 69.7%)

# 看護学教育における臨地実習に関するアンケート調査

## 4. 看護系大学生の卒業時到達度達成のための臨地参加型実習の必要性 (n=214)

設置主体	必要だと思う	必要と思わない	どちらともいえない	回答数
国立・省庁大学校	30(93.8%)	0(0.0%)	2(6.3%)	32
公立	40(95.2%)	0(0.0%)	2(4.8%)	42
私立	128(91.4%)	1(0.7%)	11(7.9%)	140
全体	198(92.5%)	1(0.5%)	15(7.0%)	214

## 5. 領域別臨地実習における、臨地参加型実習の実施状況 (n=214)

設置主体	全体的にできている	一部できている	全くできていない	その他	回答数
国立・省庁大学校	14(43.8%)	16(50.0%)	1(3.1%)	1(3.1%)	32
公立	22(52.4%)	17(40.5%)	1(2.4%)	2(4.8%)	42
私立	67(47.9%)	57(40.7%)	3(2.1%)	13(9.3%)	140
全体	103(48.1%)	90(42.1%)	5(2.3%)	16(7.5%)	214

# 看護学教育における臨地実習に関するアンケート調査

## 7. 領域別臨地実習で学生が医療チームの一員として参加できているか

### 回答の選択肢

1. 実習場の全部署できている    2. 実習場の全ての部署ではないが概ねできている  
3. 実習場の半数以下の部署ではあるが、できている    4. 全くできていない    5. 完成年度に達していないため該当しない

成人	1	2	3	4	5	回答数					
1学生がカルテや看護記録の閲覧権限を有している。	146	74.1%	33	16.8%	9	4.6%	4	2.0%	5	2.5%	197
2学生が測定したバイタルサインは正式な記録として採用されている。	44	22.6%	73	37.4%	44	22.6%	29	14.9%	5	2.6%	195
3学生が実施した看護を実際の看護記録に記載することが認められている(看護師確認後の記録や看護師との名前併記での記録を含む)。	4	2.0%	7	3.6%	8	4.1%	170	86.7%	7	3.6%	196
4学生が立案した看護計画が実際の看護計画に採用されている。	7	3.6%	16	8.2%	50	25.8%	115	59.3%	6	3.1%	194
5看護スタッフのカンファレンスで学生の意見を求められる。	5	2.6%	20	10.3%	81	41.8%	82	42.3%	6	3.1%	194
	206	21.1%	149	15.3%	192	19.7%	400	41.0%	29	3.0%	976

# 看護学教育における臨地実習に関するアンケート調査

成人		1	2	3	4	5	6	回答数					
1 1臥床患者のリネン交換を指導の下で実施している。	68	35.6%	43	22.5%	33	17.3%	36	18.8%	6	3.1%	5	2.6%	191
10 10清拭を指導の下で実施している。	113	58.9%	55	28.6%	11	5.7%	8	4.2%	0	0.0%	5	2.6%	192
30 30安全な療養環境の整備(転倒・転落・外傷予防)を指導の下で実施している。	151	78.6%	21	10.9%	8	4.2%	6	3.1%	1	0.5%	5	2.6%	192
31 31安楽な体位の調整を指導の下で実施している。	108	56.5%	49	25.7%	21	11.0%	8	4.2%	0	0.0%	5	2.6%	191
5 5移乗介助を指導の下で実施している。	50	26.0%	55	28.6%	52	27.1%	26	13.5%	4	2.1%	5	2.6%	192
35-1 35-1膀胱留置カテーテルの管理を指導の下で実施している。	35	18.3%	38	19.9%	43	22.5%	27	14.1%	43	22.5%	5	2.6%	191
35-2 35-2膀胱留置カテーテルの管理を見学している。	67	35.1%	52	27.2%	30	15.7%	35	18.3%	2	1.0%	5	2.6%	191
3 3経管栄養法による流動食の注入を指導の下で実施している。	3	1.6%	4	2.1%	13	6.8%	78	40.6%	88	45.8%	6	3.1%	192
15 15ネブライザーを用いた気道内加湿を指導の下で実施している。	6	3.1%	14	7.3%	15	7.8%	90	46.9%	62	32.3%	5	2.6%	192
17 17創傷処置(創洗浄、創保護、包帯法)を指導の下で実施している。	13	6.8%	16	8.4%	30	15.8%	70	36.8%	56	29.5%	5	2.6%	190
18 18経口薬(バツカル錠、内服薬、舌下錠)の投与を指導の下で実施している。	13	6.8%	9	4.7%	17	8.9%	45	23.6%	101	52.9%	6	3.1%	191
21 21点滴静脈内注射の管理を指導の下で実施している。	28	14.7%	30	15.8%	31	16.3%	45	23.7%	51	26.8%	5	2.6%	190
24 24簡易血糖測定を指導の下で実施している。	11	5.8%	17	8.9%	49	25.8%	66	34.7%	41	21.6%	6	3.2%	190
28 28無菌操作を指導の下で実施している。	11	5.7%	15	7.8%	24	12.5%	48	25.0%	89	46.4%	5	2.6%	192

回答の選択肢: 1. 75%以上の学生が経験している 2. 50%以上~75%未満の学生が経験している 3. 25%以上~50%未満の学生が経験している  
4. 25%未満の学生が経験している 5. 経験の機会がない 6. 完成年度に達していないため該当しない

# 看護学教育における臨地実習に関するアンケート調査

成人		1	2	3	4	5	6	回答数					
36-1導尿又は膀胱留置カテーテルの挿入を指導の下で実施している。	4	2.1%	1	0.5%	3	1.6%	19	9.9%	158	82.7%	6	3.1%	191
36-2導尿又は膀胱留置カテーテルの挿入を見学している。	26	13.5%	18	9.4%	24	12.5%	92	47.9%	27	14.1%	5	2.6%	192
37-1浣腸を指導の下で実施している。	1	0.5%	1	0.5%	5	2.6%	21	11.0%	157	82.2%	6	3.1%	191
37-2浣腸を見学している。	6	3.1%	9	4.7%	14	7.3%	109	57.1%	48	25.1%	5	2.6%	191
41-1口腔内・鼻腔内吸引を指導の下で実施している。	1	0.5%	4	2.1%	5	2.6%	48	25.0%	128	66.7%	6	3.1%	192
41-2口腔内・鼻腔内吸引を見学している。	18	9.4%	26	13.5%	37	19.3%	91	47.4%	15	7.8%	5	2.6%	192
42-1気管内吸引を指導の下で実施している。	1	0.5%	3	1.6%	2	1.0%	24	12.5%	156	81.3%	6	3.1%	192
42-2気管内吸引を見学している。	15	7.9%	24	12.6%	27	14.1%	86	45.0%	34	17.8%	5	2.6%	191
45-1皮下注射を指導の下で実施している。	1	0.5%	1	0.5%	3	1.6%	17	8.9%	163	85.3%	6	3.1%	191
45-2皮下注射を見学している。	9	4.7%	11	5.8%	41	21.5%	86	45.0%	39	20.4%	5	2.6%	191
46-1筋肉内注射を指導の下で実施している。	1	0.5%	0	0.0%	1	0.5%	13	6.8%	170	89.0%	6	3.1%	191
46-2筋肉内注射を見学している。	6	3.1%	3	1.6%	17	8.9%	98	51.3%	62	32.5%	5	2.6%	191
51-1静脈血採血を指導の下で実施している。	2	1.0%	0	0.0%	3	1.6%	15	7.9%	165	86.4%	6	3.1%	191
51-2静脈血採血を見学している。	21	11.1%	16	8.4%	28	14.7%	92	48.4%	28	14.7%	5	2.6%	190

回答の選択肢: 1. 75%以上の学生が経験している 2. 50%以上～75%未満の学生が経験している 3. 25%以上～50%未満の学生が経験している  
4. 25%未満の学生が経験している 5. 経験の機会がない 6. 完成年度に達していないため該当しない